

歯科受診勧告後の治療は、おすみですか？

1学期に内科検診・歯科検診・耳鼻咽喉科検診・眼科検診・尿検査・視力検査・聴力検査・心電図(1年生)等の多くの健康診断を実施しました。その後、病院受診や治療が必要な幼児・児童に検診勧告を行っています。特に歯科受診勧告を1学期末に56名に行いました。夏休みを終えても改善が見られないため、2学期末に第2回目の歯科受診勧告を53名に行いました。それでも改善が図られないため、今月、第3回目の歯科受診勧告を46名に行います。

特に健康面で懸念されるのが虫歯の治療です。学校評議委員や教育委員の皆様からも毎年、改善するようにとのご指摘を受けていますが、なかなか画期的な改善が図れていないのが現状です。

2月5日現在の小学校の受診状況が下表のとおりとなっています。子ども達の虫歯治療には、保護者の協力が必要です。ぜひ、現在の状況をご理解いただき、子ども達が健康で学習に取り組めるよう、虫歯の治療をよろしくお願いします。

受診勧告後の受診状況

平成31年2月5日現在

	勧告	受診	受診率(%)
耳診(症状有→受診)	66	7	11
耳鼻科検診	19	11	58
眼科・内科検診	4	0	0
歯科検診	56	10	18
視力検査	45	13	29
聴力検査	1	0	0
全体	191人	41人	21%

歯科検診の第3回勧告状況

平成31年2月5日現在

学年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	全体
児童数(人)	17	26	27	19	23	19	131
勧告数(人)	4	9	9	5	12	7	46
勧告数の割合(%)	24	35	33	26	52	37	35

みんなで考えられるといいのにね

『校長先生、ちょっと来て下さい。』なにか見せたいものがあると、子ども達は私にそう声をかけます。連れて行かれたのは、1階の男子トイレ、乱雑になったトイレ用のスリッパでした。それだけでなく、隣の女子用のトイレも同じことが起こっていました。その子が直しても直しても同じ事になるのだということです。それでも、『きれいな方がいいですね。』と言って直してくれました。私も女子トイレのスリッパを後から使う人が気持ちよいように、『出船の形』で並べました。今日1日、その形で過ごせたら、「校長先生、ちょっと来て下さい。」と声をかけてくれた子の勇気が活かされることになるのかなと、思いました。」というお話を9月の松風39号に掲載しました。しばらくは、きれいな「出船の形」に並べられていたスリッパだったのですが、また以前の乱雑な状態に戻っています。子ども達にも「どうして、スリッパをそろえた方がいいのかな？」と担任からもお話をしながら、改善を図って行けたらと思っています。

ご家庭でもこのことを話題にして、子ども達と一緒に考えてみてくださると嬉しいです。



写真1・2 乱雑になったスリッパ



写真3 出船の形に並べられたスリッパ